



松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根木戸

北習志野

習志野

葉園台

前原

新津田沼

京成津田沼

船橋大神宮の愛称で親しまれているこの神社は、正式名「意富比神社（おおひじんじや）」といひ、歴史も古く、およそ千年前に創建されたと言われています。
社伝によると景行天皇40年（西暦100年）に日本武尊、やまとたけるのみこと（の東征の際、こちらの神社に天照大神を祀り、東国平定の成就を祈願したのが始



▲船橋大神宮境内

船橋大神宮



▲御滝不動尊

1423年（応永30年）に開基されたと言われている。慈覚大師の作とされている不動明王が本堂に祀られており、境内の「馬水の霊地」には弁財天が祀られております。この滝はかつて干ばつにも涸れることなく落ち続けた「御滝」の名があるとされ、この滝から流れ出る水は後に海老川と名を変え、船橋市街地を経て東京湾へ流れています。
隣接している滝不動公園は、春の花見の時期にはたくさんの桜が咲き誇り、人々の目を楽ませております。

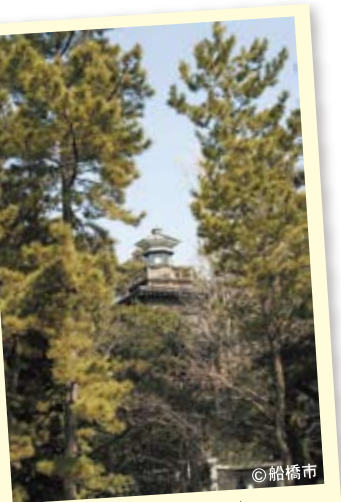
真言宗御瀧山金蔵寺 滝不動公園

まりと伝えられております。当時この社の周辺に住む住民は日照に苦しんでおり、日本武尊が祈雨を念じると雨が降り出したと言ひ伝えられています。元々この社は太陽の神である「意富比神（大日神）」が祀られ、船橋周辺の漁民の信仰を集めておりましたが、船橋一帯が伊勢神宮に寄進され御厨となり、その守護として天照大神を祀る神明社が建立された後に同社の神明社が合祀され、意富比神が天照大神と同一視されています。

源頼朝、徳川家康他、明治天皇、大正天皇、昭和天皇等の歴代天皇も参拝に訪れています。
境内の灯明台は、明治13年に完成した和洋折衷の灯台で、当時では国内最大級の灯台と言われている。1962年に千葉県文化財に指定されております。



▲船橋大神宮境内



▲船橋大神宮灯明台

船橋十福神巡り 滝不動駅～船橋大神宮

約11.0km

